



はじめにお読みください



本書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。本製品をご使用になる前に本書を必ずお読みください。

## 使用上のご注意

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

## 安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って操作してください。本書には本製品のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。本書では、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	<b>警告</b>	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	<b>注意</b>	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例: 感電注意
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例: 分解禁止
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例: プラグを抜く

(本書での表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	指定以外のコンセントに差し込まない 指定された電圧でアース付きのコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。	<b>注意</b>

## 本書およびラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。		

### 行為の禁止

	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触れないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。		

### 行為の強制

	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず設置してください。感電や火災のおそれがあります。		

## 安全上のご注意

### 全般的な注意事項

	<b>警告</b>	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。
		煙や異臭、異音が生じたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音が生じた場合は、ただちにPOWERスイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
		針金や金属片を差し込まない 通気孔やUSBコネクタ等のすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

### 注意

	海外で使用しない 本製品は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。本製品を海外で使用すると火災や感電の原因となります。
	本製品内に水や異物を入れない 本製品内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

### 電源・電源コードに関する注意事項

	<b>警告</b>	ぬれた手で電源プラグを持たない ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
--	-----------	---

## 安全上のご注意 - つづき -

### お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

	<b>警告</b>	自分で分解・修理・改造はしない 本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
		プラグを差し込んだまま取り扱わない お手入れや本製品に接続されているケーブルの取り付け/取り外しは、本製品の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントからすべて抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま本製品内部の部品に触ると感電するおそれがあります。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまると、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

### 運用中の注意事項

	<b>注意</b>	雷が鳴ったら触らない 雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントからすべて抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本製品には触らないでください。火災や感電の原因となります。
		ペットを近づけない 本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本製品内部に入って火災や感電の原因となります。

## 製品の譲渡と廃棄について

#### 第三者への譲渡について

本製品を第三者に譲渡(または売却)するときは、本書ならびに添付の部品や説明書、ライセンス許諾書などのドキュメントもいっしょにお渡しく下さい。譲渡や売却の際には、必ず渡してください。

#### 本製品の廃棄について

本製品の廃棄については各自自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自自治体へお問い合わせください。なお、装置添付の電源ケーブルにつきましても、他装置への転用を防ぐため、本体と一緒に廃棄してください。

## ユーザースガイドについて

ユーザースガイドは以下のホームページに公開されています。  
[http://www.express.nec.co.jp/care/user/guide\\_main.html](http://www.express.nec.co.jp/care/user/guide_main.html)

これは、PDFファイルで提供されています。

PDFファイルを開覧するためには、Adobe Reader日本語版が必要です。Adobe Readerはアドビ社のWebサイトから無償でダウンロードすることができます(<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>)。

ユーザースガイドでは、本製品を安全に取り扱うための注意事項やStartup Guideでは記載されていないセットアップに関する詳細な説明、運用やアップグレードに関する説明が記載されています。また、「故障かな?」と思ったときのトラブル回避の手立てやサービスに関する情報も記載されています。本製品を取り扱う前にぜひお読みください。

## セットアップの流れ

箱を開けてからサーバが使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

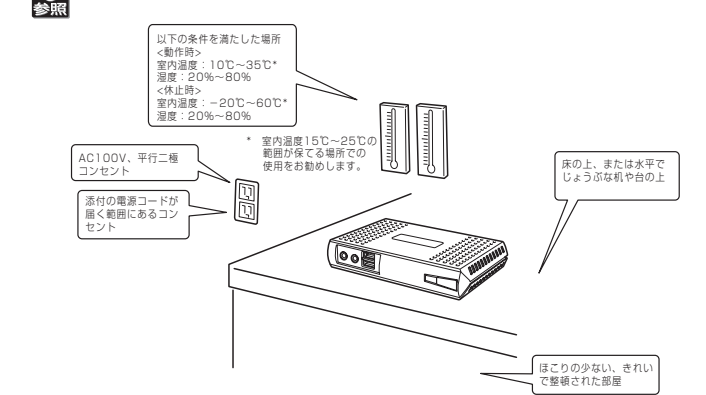
### Step 1 添付品を確認する

- 本体
  - ACコード
  - ACアダプタ
  - キーボード\*
  - マウス\*
  - スタートアップガイド(本書)
  - お客様登録申込書
  - 保証書
- (本体梱包箱に貼り付けられています)
- \* キーボードとマウスは、構成によっては入っていません。

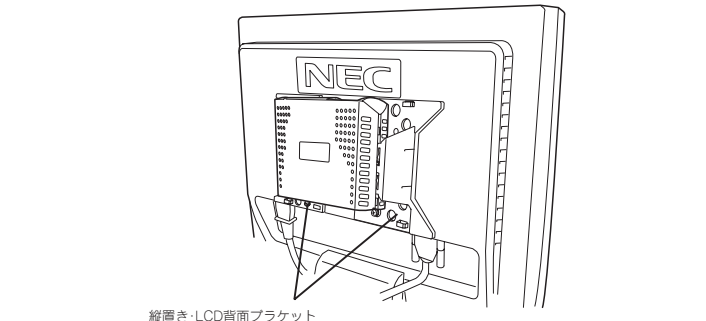
### Step 2 本体を適切な場所に設置する

本体の設置場所を決めます。

「ユーザースガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。



別売のN8120-102 縦置き・LCD背面ブラケットやN8120-103 LCD背面取付位置調整板などのオプションを購入されている場合は、本体をLCD背面に設置することもできます。詳細については、オプションに添付の取扱説明書をご覧ください。



N8120-102 縦置き・LCD背面ブラケットを使用してLCD背面に設置した場合

	<b>注意</b>	指定以外のコンセントに差し込まない 指定された電圧でアース付きのコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本製品の電源仕様と合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。
		たご配線にしない コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。
		中途半端に差し込まない 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因になることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
		指定以外の電源コードを使わない 本製品に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次のような行為を行わないでください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● コード部分を引っ張らない。</li> <li>● 電源コードを折り曲げない。</li> <li>● 電源コードをねじらない。</li> <li>● 電源コードを踏まない。</li> <li>● 電源コードを束ねたまま使わない。</li> <li>● 電源コードをステープラ等で固定しない。</li> <li>● 電源コードをはさまない。</li> <li>● 電源コードに薬品類をかけない。</li> <li>● 電源コードにものを載せない。</li> <li>● 電源コードを改造・加工・修復しない。</li> <li>● 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードは同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)</li> </ul>
		添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない 添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。
		ケーブル部分を持って引き抜かない ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

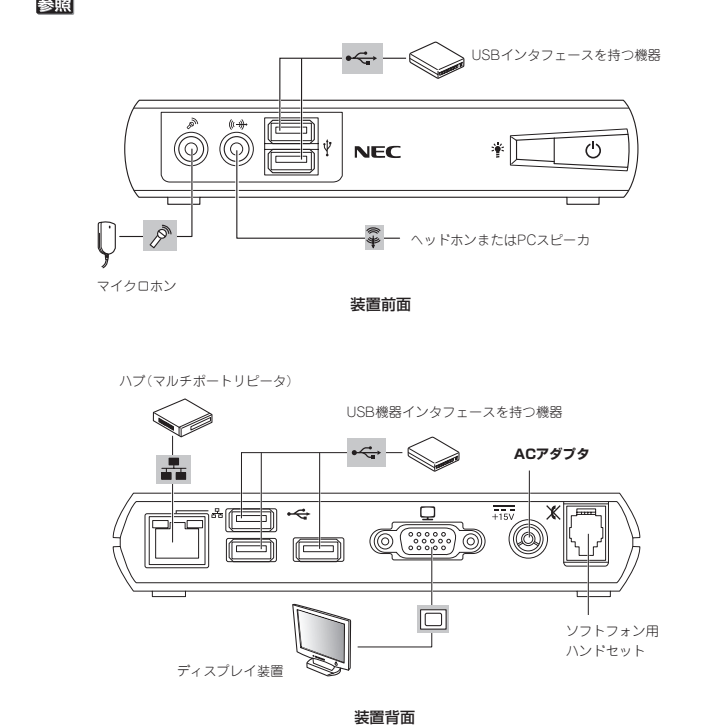
### 設置・移動・保管・接続に関する注意事項

	<b>注意</b>	指定以外の場所に設置しない 本製品を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ほこりの多い場所。</li> <li>● 直射日光が当たる場所。</li> <li>● 給湯器のそばなど湿気の高い場所。</li> <li>● 不安定な場所。</li> </ul>
		腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス(塩化ナトリウムや二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の発生する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこり中に腐食を促進する成分(硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。本製品内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

## Step 3 ケーブルを接続する

ケーブルを本体に接続します。

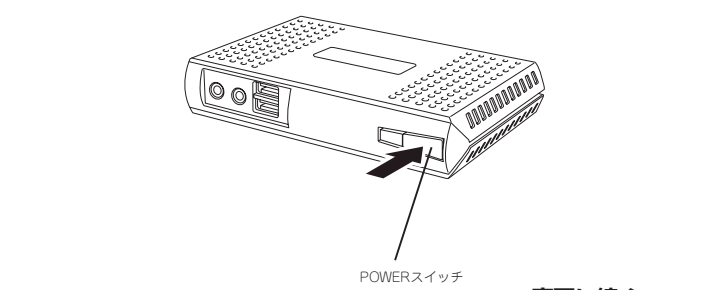
「ユーザースガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。



## Step 4 電源をONにする

前面のPOWERスイッチを押して電源をONにします。US110に接続したディスプレイにNECロゴが表示された後、ターミナル接続マネージャが表示されます。

US110をネットワークに接続していない場合、「LANケーブルに接続してください。」というメッセージが表示されます。後でLANケーブルを接続する場合は、「X」ボタンをクリックすることで、次の画面に進むことができます。

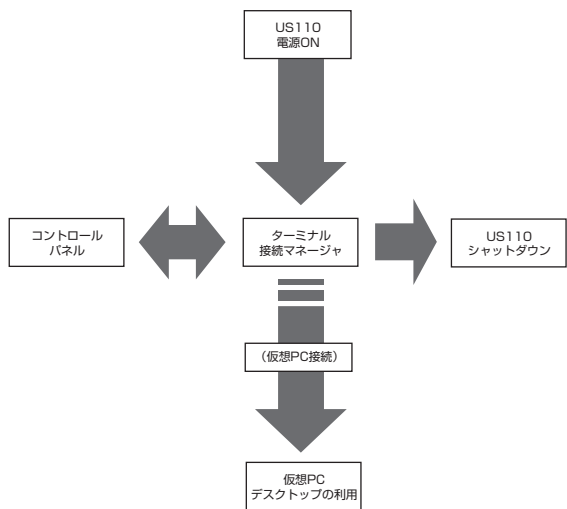


## セットアップの流れ (つづき)

### Step 5 基本的な操作方法を理解する

US110では、仮想PCの接続メニューであるターミナル接続マネージャと、US110の設定を行うコントロールパネルを使用して基本的な操作を行います。

- US110を電源ONすると、ターミナル接続マネージャが表示されます。



- ターミナル接続マネージャを使って、仮想PCの接続情報を設定して、仮想PCに接続します。
- US110の設定を変更するにはコントロールパネルを使用します。コントロールパネルは、ターミナル接続マネージャから開くことができます。
- US110の電源をOFFにするには、ターミナル接続マネージャからシャットダウンを行います。

### Step 6 ネットワークを設定する

US110の初期設定では、ネットワーク設定は、IPアドレスをDHCPサーバーから取得するように設定されています。ネットワーク設定を変更する場合は、以下の手順で変更してください。

- 1 「ターミナル接続マネージャ」から「コントロールパネル」ボタンを押して、「コントロールパネル」を表示します。
- 2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」のアイコンをダブルクリックします。
- 3 「NETCLIENT-NSS」のアイコンをダブルクリックします。
- 4 「IPアドレスを指定」を選択してから、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定を行います。DNS、WINSの設定は、「ネームサーバー」タブで行います。

### Step 9 仮想PCに接続する

作成した接続エントリを使用して、仮想PCに接続します。

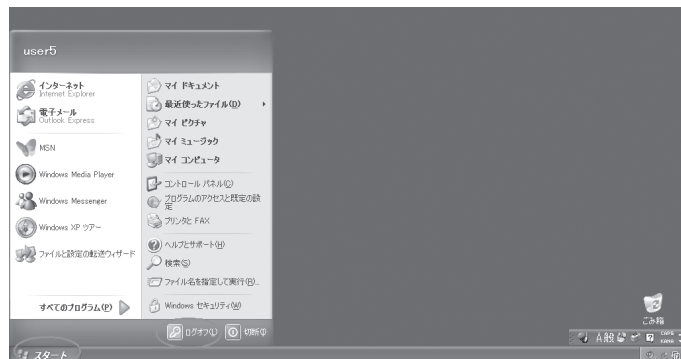
- 1 「ターミナル接続マネージャ」の「接続エントリ」タブを選択します。
- 2 接続エントリ名の一覧から、接続する仮想PCを選択し、「接続」ボタンを選択してください。



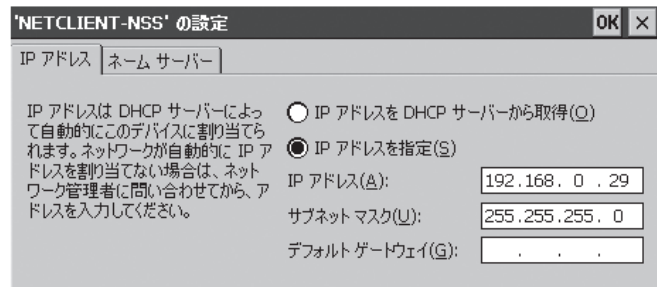
- 3 仮想PCに接続され、仮想PCのログインダイアログが表示されます。
- 4 仮想PCにログインした後は、仮想PCのデスクトップが表示され、スタートメニューから各種プログラムを使用することができます。

### Step 10 仮想PCをログオフする

仮想PCでの作業を終える場合は、仮想PCのタスクバーから「スタート」-「ログオフ」を選択します。



仮想PCからログオフすると、US110のターミナル接続マネージャに戻ります。



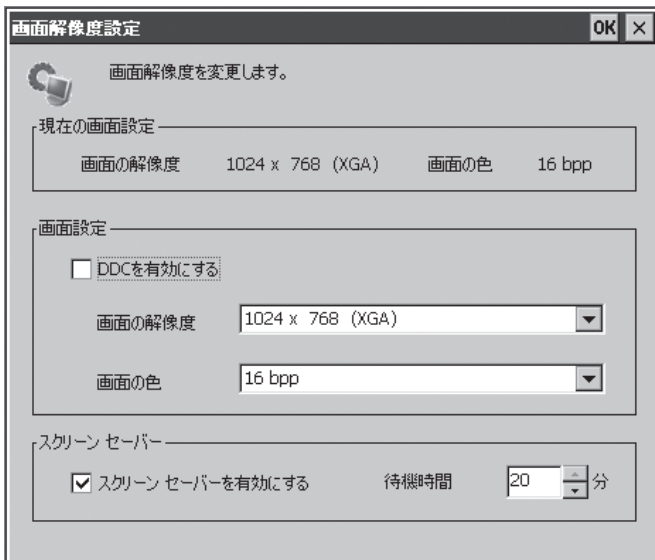
ターミナル接続マネージャの「構成」タブには「コントロールパネル」ボタンはありません。コントロールパネルを表示する場合は、「接続エントリ」を選択してください。

### Step 7 ディスプレイ解像度を設定する

ご使用になるディスプレイに合った解像度を設定します。

- 1 「ターミナル接続マネージャ」から「コントロールパネル」ボタンを押して、「コントロールパネル」を表示します。
- 2 「画面解像度設定」のアイコンをダブルクリックします。
- 3 「画面設定」の「画面の解像度」、「画面の色」をプルダウンメニューから選択します。
- 4 「OK」を押して終了します。

US110が設定された解像度で再起動されます。



画面設定で「DDCを有効にする」を指定すると、ディスプレイから自動的に最適な画面設定を取得します(※)。

US110の画面表示性能を最大限に引き出すために、US110の画面の色の設定と、仮想PC接続の画面色設定を両方とも16bppに設定してのご使用を推奨します。

(※) お使いになるディスプレイがDDCに対応している必要があります。

### Step 11 US110をシャットダウンする

ターミナル接続マネージャの「接続エントリ」タブにある、「シャットダウン」ボタンを選択して、US110をシャットダウンします。



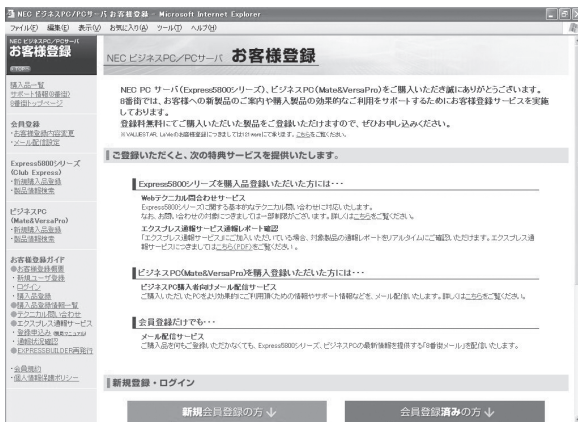
ターミナル接続マネージャの「構成」タブには「シャットダウン」ボタンはありません。シャットダウンする場合は、「接続エントリ」を選択してください。

### Step 12 お客様登録をする

添付の「お客様登録申込書」またはインターネット(WWW)を利用して登録を行います。

添付の「お客様登録申込書」に必要事項を記入の上、「エクスプレス受付センター」までご返送ください。返送していただいたお客様は、「ClubExpress会員」に登録させていただきます。「ClubExpress会員」は、インターネットからも登録手続きが行えます。

<http://club.express.nec.co.jp>



### Step 8 仮想PC接続先を設定する

接続する仮想PCの接続エントリを作成します。

- 1 「ターミナル接続マネージャ」から「構成」タブを選択します。
- 2 「追加」ボタンを選択します。
- 3 「新しい接続エントリ」の画面が表示されるので、プルダウンメニューから「Microsoft リモートデスクトップ クライアント」を選択して、「OK」ボタンを押してください。



- 4 接続先の名前となる接続エントリ名と、接続する仮想PCのコンピュータ名またはIPアドレスを入力します。
- 5 「次へ」ボタンを選択して、最後に「終了」ボタンを選択します。

設定情報を変更する場合は、「編集」ボタンをクリックして「接続の編集」ダイアログを表示してください。仮想PC接続の画面色は「接続の編集」ダイアログの中で変更できます。

また、シンクライアントをはじめとするさまざまな製品の情報は以下のインターネット情報サイトにあります。ご覧ください。

[NEC8番街] <http://nec8.com>

以上でシンクライアントのセットアップは完了です。ご利用の環境に合わせてその他使用するアプリケーションのインストールとセットアップをしてください。シンクライアントを末永くご利用ください。シンクライアントに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。(電話番号のかけ間違いが増えています。番号をよくお確かめの上、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター TEL. 03-3455-5800(代表)  
受付時間 / 9:00~12:00、13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日を除く)

<本製品の利用目的について>

本製品は、高速処理が可能であるため、高性能コンピュータの平和的利用に関する日本政府の指導対象となっております。ご使用に際しましては、下記の点につきご注意ください。よう、よろしくお願いたします。

1. 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により適切なアクセス管理をお願いいたします。
3. 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等に関わる不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚した場合には、速やかに弊社相談窓口までご連絡ください。弊社相談窓口ファーストコンタクトセンター(電話番号 03-3455-5800)

<注意>

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると電波妨害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

<高調波適合品>

本製品は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品です。JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値(1相当)の入力電流が20A以下の機器」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

<回線への接続について>

本製品を公衆回線や専用線に接続する場合は、本製品に直接接続せず、技術基準に適合し、認定されたボードまたはモデム等の通信端末機器を介して使用してください。

<電源の瞬時電圧低下対策について>

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し、不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置(UPS)等を使用されることをお勧めします。

<海外でのご使用について>

本製品は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、本製品を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

商標について

ICAはCitrix Systems Inc.の登録商標、Citrix Presentation Serverは、Citrix Systems Inc.の商標です。MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。その他の製品名は、すべてそれぞれの会社の商標または登録商標です。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

© NEC Corporation 2007

NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。